

小児形成外科分野指導医認定委員会

委員長：金子 剛

担当理事：横田 和典

委員：朝戸 裕貴、稲川 喜一、今井 啓介、今井 啓道、木村 得尚、
小林 眞司、田中 克己、土佐 泰祥、野口 昌彦、朴 修三

開催年月日：①2018年4月13日（大阪）、②2018年10月19日（東京）

③2019年2月23日（横浜）

*その他適宜メール委員会

活動の内容：1. 2018年度小児形成外科分野指導医認定審査（第2回認定審査）

①申請受付期間 2018年9月15日～10月31日

申請者は16名であった。

②書類審査会 2018年11月28日 日形会事務局会議室

金子 剛（委員長）、朝戸 裕貴、小林 眞司、土佐 泰祥の4名
で申請書類の確認を行った。

1名について症例写真の再提出を求めその後再審査を経て、資格を
満たさない申請者1名を不合格、15名を合格とした。

③筆記試験 2019年2月23日（土）

第24回日本形成外科手術手技学会会場（パシフィコ横浜 4F
413）にて行われた。

新規申請者15名のうち14名が筆記試験を受験した。14名は合格基
準を満たし全員合格となった。欠席者1名は書類審査は合格とする。
その結果を理事会に報告した。

2. 2019年度小児形成外科分野指導医認定審査

第3回認定審査の予定は以下の通り（2018年12月号に公示済み）。

①申請受付期間 2019年7月1日～7月31日

②筆記試験 2019年11月13日～15日のいずれか

第28回日本形成外科学会基礎学術集会（仙台）の会場。

3. 教育セミナーについて

第62回総会においては学術集会中に行われる以下の領域講習やシン
ポジウムなどを小児形成外科分野指導医教育セミナーに認定する。学
会会長には依頼済み。

①5月15日（水）13：20～15：00 【学術フォーラム】

セッションテーマ：唇裂・口蓋裂治療の新展開

「唇顎口蓋裂一期手術～治療の実際と成績と展望」

②5月15日（水）15：00～16：20 【学術フォーラム】

セッションテーマ：唇裂・口蓋裂治療の新展開

「チーム医療の理想と現実～形成外科の本音」

③5月16日（木）13：50～14：50 【ガイドラインシンポジウム】

「眼瞼下垂症診療ガイドライン」

④5月17日（金）13：00～15：00 【学術フォーラム】

「血管腫・脈管奇形の新規治療の開発と保健適応への活動」

第 28 回基礎学術集会より“小児形成外科分野指導医セミナー”を開催する。既に学会会長には依頼済。企画は小林委員、土佐委員、野口委員が担当する。

4. 更新基準の公示や制度について

更新基準については、12月号会告に掲載した。形成の学会への参加のみでは実績点としては換算されないことを明示する目的で注釈として追加した。

5. その他の審議事項

・英語表記について

「小児形成外科分野指導医」の正式な英語表記としては「Japanese Board of Pediatric Plastic Surgery」とする予定とし、問題ないか海外の先生にも金子委員長が確認することになった。

・症例の重複使用の件

頭蓋額顔面外科学会の専門医申請では、形成外科専門医申請時の症例は利用することが出来ないことが今井委員より報告され、本指導専門医制度との整合性について指摘がなされた。

小児形成外科分野指導医認定委員会としては、同じ日形会内部での制度であることから、日形会専門医申請時の症例をもって実績とすることについては、当面は深く言及しないものとしつつも、様子を見ることとした。

・申請書類の電子化について

本年度より日形会専門医の申請書類の提出方法が電子化された。分野指導医制度でも基本的にフォーマットは日形会のものを踏襲してきた経緯があり、申請者の利便性、審査の効率性も高まることから、本分野指導医においても申請の電子化を検討することになった。